



## 第724回 「クリスマスパーティ」

クラブ奉仕委員会が送る「クリスマスパーティ」いかがでしたか？会員のみなさんにクリスマスの雰囲気を楽しんでもらいたく、クラブ奉仕委員がサンタや動物の衣装を着て一生懸命頑張りました。クリスマスソングに合わせてクラブ奉仕委員が登場し、ハンドベルの演奏が始まりました。すこしごちない演奏でしたが、忙しい仕事の合間に一生懸命練習した成果を会員のみなさんが真剣に聴いてくれたので、とてもうれしかったです。その後は、誰でも一度はやってきたことがあるゲーム、フルーツバスケットをクリスマスバージョンで行ない、参加頂いたOB、ロータリアンの方々にも体を動かしてもらいました。プレゼント交換も行ない、楽しい時間が過ごせたと思います。

芋毛 敦子 会員

## 第725回 「新年歌会始」

1月7日木曜日、理事会主催でのホーム例会「新年歌会始」が行われました。以前より、今年の抱負を短歌で考えておいて下さいという宿題がでていましたが、学生時代以来の短歌作成、かなり悩みました。例会当日は、それぞれが細長い色紙に短歌を書き、大きな紙に下の句を書いて、別室での百人一首大会へとあいなりました。誰が書いたかは内緒で床に並べられたかるた、読み手の神主さんが札を読み、みんなで走り回って札を奪いにいきました。札を読み終わる毎に作者が発表され、なるほどと納得したり、上の句を読んだ時点で下の句がわかっちゃう人がいたり・・・なかなか意表がつかれることが起こりそれはそれで楽しかったです。ちなみに、我がクラブ奉仕は百人一首大会で優勝いたしました！そして、私の短歌を発表。「今年こそ つかまえてやる ペ・ヨンジュン 私はチェ・ジウに整形します」です。悩みに悩んで思いつかず、四役にヒントをいただき完成しました。ここでカミングアウトをしますが、ペ・ヨンジュンはタイプではないので、叶うことはないでしょう。ペ会長、ごめんなさい(笑)

茂古沼 理絵 会員

## 第726回 「氷祭り～賞に向かってGO!～」

きたる帯広氷祭り雪像作りに向けて、雪像作品の発表・スケジュールと予算の説明、そして当日作業の服装を社会奉仕委員自ら！かるくファッションショー気取りで会員の皆様に説明を行ないました。(清原さんがいち早く長田会員のワンポイントファッションに食いついてくださいました・・・)今回の雪像作品は、「ドラえもん」が25周年という事で決定。今年こそ市長賞を！の意気込みで森田委員長がちよっと照れながら「エイエイオー!!」で気合を入れてプログラムは無事終了致しました。毎年この時期になると始まる雪像作り、寒い中での作業です。体調を崩さないように会員の皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っています。

衣斐 希 会員

## 第727回 「international communication」

「インターナショナルコミュニケーション」ということで、JICAよりゲストとして10名にお越し頂き例会が行われました。けん玉や、折り鶴等の日本の伝統的な遊びを中心に交流を行ないましたが、各ゲームコーナーからは拍手や歓声が起こり非常に楽しい雰囲気の中で例会は進みました。遊びをしながら身振り手振りや表情などで意思疎通を図っている様子を見ていて、会話による交流は言語の問題もありませんが、相手に何かを伝えるという事は、相手の事を思う気持ちが非常に大切だと実感しました。今後もこのような例会を通しお互いを理解し合える機会が今以上に増えればと思います。

松本 晃好 会員

## 氷まつりについて

毎年恒例となりました氷まつり雪像コンクールに今年度も参加させていただくことになりましたが、昨年度とは若干異なり、事前に例会にて氷まつりに関する説明や雪像コンクールに展示する作品について諸事連絡をさせていただき、5日間の雪像制作は例会外活動として進めました。雪像を制作するだけではなく氷まつり事態の目的や趣旨をわかったうえで雪像制作は良かったと感じましたし、制作についても参加会員は非常に積極的に協力していただけたことにも非常に感謝しております。正にクラブ全会員で賞に向かって進んだ結果が「北海道十勝支庁長賞(第3位)」をいただけたと思います。寒さと戦い、仲間との気持ちを繋げるこの活動は我々のクラブには必要かと思ひますし、今後も1つの目的に向かって全力で取り組みたいと強く感じるようになりました。「みんなありがとう。」

森田 博之 会員

## 氷まつりについて

今回の帯広氷祭り雪像制作は担当である社会奉仕委員会が中心となり準備、制作を進めました。「ドラえもんとおぼろ」をテーマに子供たちに喜んでもらえる様にかまくらと雪像を2体制作しました。私自身も雪像制作は初めての経験であり、氷祭りも20年近く行っておらず非常に不安でしたが、会員の皆さんの協力もあり予想以上のものが出来上がりました。結果は予想を上回る驚き！の「十勝支庁長賞」(第3位)！仕事で疲れているにもかかわらず連日寒い中夜遅くまで作業に協力してくれた会員の皆さん、温かい飲み物等を差し入れて頂いたロータリアン様、OB・OGの方々、本当にありがとうございました。来年は「市長賞」を目指しましょう！

堀 徹 会員

## 番外編 オススメの本

今回オススメする本は、平凡社から出ているリチャード・カール著の「外科医」です。

最近、このノンフィクション本にはまりました。

著者自信は実際に天才外科医と言われ、若手の頃に働いていたシカゴのスラムのどまん中にある小さな総合病院での体験を赤裸々に描いています。スラム街には、普通に暮らしてはありえない患者との出会いがたくさんあり、若手だった著者は悩み苦しみます。一般的に、医者はずいぶんになっているイメージがありますが(笑)、これを読むと、外科医だけでなく医者全般は、「誰よりも自分は出来る！」という自信を持たないとやっていけない職業だと強く感じました。小説以上に変化に富み、ドラマチックな内容になっています。あまりにも牛々しいオペ最中の描写もあり、想像していたら「痛い、痛い」と感じることもありましたが(笑)、未知の世界を知ることとはとてもドキドキしました。ぜひ、お時間あるときに、音更町図書館まで足を運んでみてください。

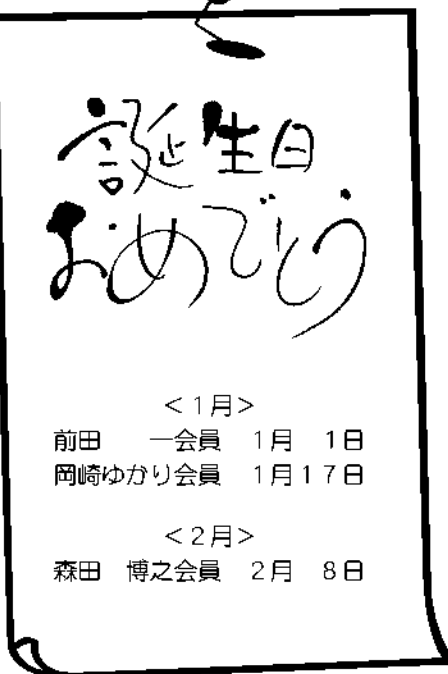
## 編集後記

芋毛 敦子

みなさん、こんばんは。お元気ですか？私は今、夜中のAM1時にこの編集後記を書いています。というのも、ただ今、夜勤中として、やっとひと段落しちょっと休憩をしながら書いてます。そして今、とっても眠いです・・・。夜勤をしていると、この時間帯が1番睡魔に襲われやすく、忙しいと睡魔も忘れてすぐ過ぎ去っていく時間なんですけど(笑)。何か睡魔を吹き飛ばすいい方法があれば、ぜひ教えて下さいね。今も「アクトをさがせ」読んでいただいたみなさん、ありがとうございます。

茂古沼 理絵

原稿依頼を受けて下さった会員の皆様、ご協力大変ありがとうございました。今回も、皆さんの記事のおかげで、味のある紙面づくりが出来ました。私事ですが、これを発行した2月17日は、父・昭二の生誕60周年記念日です。赤いちゃんちゃんこが似合わないなあと考えていたら、ある知り合いのご夫婦の話を耳にしました。そのご夫婦は、だんな様が60歳の時は赤いタキシードを、奥様が60歳の時には赤いドレスを着て写真をとったのだそうです。なんともお2人らしい記念ごとだとなほのほのとしました。我が父にはどんな赤色に染まってもらおう・・・今から楽しみです。



<1月>

前田 一 会員 1月 1日

岡崎ゆかり 会員 1月 17日

<2月>

森田 博之 会員 2月 8日

あなたのメッセージを載せます。  
希望者は月末までに  
広報担当までご連絡下さい。

\*帯広ローターアクトホームページ <http://www.clione.ne.jp/ri2500orac/>  
\*iモードサイトの掲示板 <http://www.clione.ne.jp/ri2500orac/i/imode.cgi>